



高知県からのお知らせ 「木の香るまちづくり推進事業」

全国一の森林率84%を誇っている高知県。県では「木に親しむ」・「木を活かす」活動の一環として、県産材を積極的に活用した学校関連施設や公共的施設等の木質化や木製品の整備に対して支援しています。幼稚園や小・中学校等の机や遊具等の導入、ホテル・銀行・病院等のエントランスの内装木質化、道の駅への案内看板の設置等にご利用いただけます。事業内容など詳しくは、ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

[2020年2月現在]

■ 補助内容

①公共的施設整備

P R効果の高い公共的施設における玄関、ロビー等の木質化および木製品の導入経費

②学校関連環境整備

幼稚園、保育施設、小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校等の児童・生徒が利用する施設における教室等の木質化および木製品の導入経費

③屋外景観施設等整備

県内の観光地や市街地等 P R効果の高い場所における木製のバス待合所や休憩所、案内看板等の整備に要する経費

■ 対象事業者

①公共的施設整備

市町村、社会福祉法人、医療法人、財団法人、県内に事務所を置く企業、団体等

②学校関連環境整備

市町村、市町村教育委員会、社会福祉法人、学校法人、財団法人、その他認可外保育施設の設置者

③屋外景観施設等整備

市町村、団体、バス事業者等

■ 補助率

補助対象経費の1/2以内(ただし、①公共的施設整備・②学校関連環境整備の場合は補助金額2万5千円以上、③屋外景観施設等整備は補助金額5万円以上で申請可能)

■ 補助限度額

一施設あたり限度額400万円、一事業者あたり限度額500万円

[問い合わせ]

高知県林業振興・環境部 木材産業振興課
TEL/088・821・4593

木の香るまちづくり推進事業

検索



木組みが降り注ぐかのような不思議な光景。

ここで夜通し本に囲まれて過ごしたいという方も多いというコミュニケーションラウンジ夢見楼は、豊かな発想を生みだす落ち着いたスペース。カーペットの模様は、森の木漏れ日が映しだす影をイメージ。



2階には、小部屋が4つ。テーマ別にセレクトした本が置かれています。自然・歴史・芸術・文化など、それぞれ、部屋のテーマを表すジオラマも楽しめます。



この日の取材の様子はこちらから。

YouTubeチャンネル「もりりん」



取材協力／梶原町立図書館「雲の上の図書館」

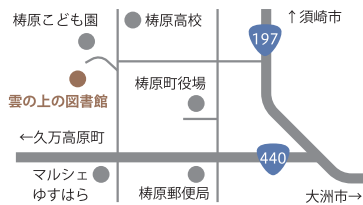
住所／高岡郡梶原町梶原1212番地2

TEL/0889・65・1900

開館時間／9:00～20:00

休館／火曜日(毎週)、金曜日(最終週のみ)

http://kumonoue-lib.jp/



快適な暮らし

木の家が持つ魅力をチェック。《番外編》

心もからだもあたたまる木の図書館。

木組みが織りなす開放的な空間。

2018年5月26日。面積の91%を森林が占め、標高1455mにもなる雄大な四国カルストに抱かれた小さな町である高知県の山間の町・梶原町に「雲の上の図書館」がオープンしました。

コンセプトは「森の図書館」。エントランスからロビーへ進むと、視界いっぱいにあふれる木の色彩とやさしい自然の光に包まれます。「降り注ぐ木漏れ日のような優しい光が見えるでしょう」と話すのは館長の見目佳寿子(みめかすこ)さんです。

天井から突き出す無数の木組みは圧巻。迫力あるデザイン性とともに、木組みの一部は屋根を支え

る梁の役割を担っています。この計算されたつくりによって、柱の数を最小限に抑え、扉をガラス張りにしても耐えうる構造を実現しました。

100%、高知県産材を使用。

この建物に使用された木材はスギとヒノキ。スギ材はすべて梶原町産、ヒノキ材はすべて高知県産です。

中央の階段部分は、大地の盛り上がりや、棚田のイメージ。梶原の里山そのものが表現されています。週末のイベントとしてコンサートを開催する時など、お客さんは森の中のコンサート雰囲気味わっているといえます。ポイントは、

直に階段に座って鑑賞すること。木は体温を奪いにくいいため、触れれば温もりを感じます。さらに、森の中にいる様な清々しい木の香りに「気分が落ち着く」「疲れが癒される」「緊張がほぐれた」など、お客さんの評判も上々のようです。実際、木の香り成分であるフィトンチッドの効果として、ストレスを感じた時に分泌される cortisol の濃度を下げるという実験結果もあります。(参考/財団法人 日本木材総合情報センター・全国木材協同組合連合会「人と環境にやさしい木のはなし」)

開館からのテーマは、木のぬくもりを肌で感じる図書館。「木っていいね」と顔がほころぶ図書館です。



屋根を、徐々に高くなるようにずらして重ねることで、接続部分のすき間にある高窓から、外光が射し込む仕組み。



「たくさんの木と本に囲まれて、ゆっくり過ごしてほしい」という館長の見目さん。

